

専門部会の進捗状況

R2年11月4日

部会名	就職幸福都市まつやま発信事業部会
代表団体	公益社団法人 松山法人会
代表者	部会長：淵上 悟
進捗状況	<p>○1月30日 えひめ男女共同参画推進大学等連絡協議会（以下、協議会）に協力要請</p> <p>○5月18日 「働きやすい職場づくり推進優良バンク（以下、バンクという）」登録を開始、現在まで29事業所が登録</p> <p>○5月22日 各大学（協議会委員を通して依頼）にバンクへの情報提供依頼を実施</p> <p>○バンク登録企業に対して、活動内容についてのヒアリング、両立支援、女性活躍に関する認証制度等の案内、支援窓口への橋渡し</p> <p>○7月9日 バンク登録事業者に対し、「職場の取組み動画」の作成を依頼</p> <p>○7月22日 えひめ男女共同参画推進大学等連絡協議会にて、バンクへの各大学からの要請提供依頼、「職場の取組み動画」の活用を依頼</p> <p>○8月18日、24日 動画作成（10社）についての打合せ会及び情報交換会を実施</p>

	<p>○9月上旬～下旬 プレゼン内容の打合せ及び動画収録(事業所ごと対応)</p> <p>○10月12日～21日 各大学への「職場の取組み動画」を提供</p> <p>(配布先) *は協議会委員を通して大学内で共有していただく予定</p> <p>①愛媛大学 各学部(医学部除く)、就職支援課、 女性未来育成センター</p> <p>②松山東雲短期大学 各学部、キャリアセンター</p> <p>③松山東雲大学 各学部</p> <p>④松山大学*</p> <p>⑤愛媛県立医療技術大学*</p> <p>⑥今治明德短期大学*</p> <p>⑦聖カタリナ大学・短期大学部 各学部、キャリアセンター</p> <p>○一部の大学から動画利用の連絡と個別企業への会社見学の依頼を受け 対応済み</p>
<p>円卓会議への 共有事項</p>	<p>計画変更:(オンライン授業が進んでいることから)各大学への情報提供ツールとして、「職場の取組み」を取りまとめた動画を提供した。</p>

【中小企業振興円卓会議】令和2年度専門部会 事業計画書

活動名	まつやま みっけふえ 「松山の暮らしやすさ」+「松山の働きやすい企業」を見つけ+カフェ	
部会名	就職幸福都市まつやま発信事業部会	
部会長・副部会長名	部会長 淵上 悟	
代表団体名	公益社団法人 松山法人会	
構成メンバー	愛媛県若年者就職支援センター、松山商工会議所、 えひめ男女共同参画推進大学等連絡協議会、えひめ女性活躍推進協議会	
活動テーマ	ええ人育て	
活動項目	「条例の推進活動」および「調査・検証活動」	
活動詳細	現状・課題	雇用形態は多様化し、就職観も変化し続ける中で、中小零細企業は経営リスクとして労働力不足を認識しており、人材を確保し、維持するための更なる働き方改革と積極的で効果的な求人プロモーションが求められている。 また、依然として有効求人倍率並びに大企業への就職希望者は高推移しており、就職を機とした市外流出が拡大していくと予想される。
	活動内容	1. 学生の職業観を満たす「働きやすい職場づくり」を進める優良企業情報を学生に提供 「仮）ワークライフバランス優良企業Bank」の創設 （1）一定の基準を満たした「働きやすい職場づくり」を進める優良企業（ワークライフバランス優良企業）のみが参加できる「仮）ワークライフバランス優良企業Bank」を創設。 * 優良企業の選定方法、実態調査ヒアリングは同様のものとする。 （2）えひめ男女共同参画推進大学等連絡協議会に協力依頼し、各大学短大のキャリア教育授業等からの企業派遣依頼を受ける。「みっけふえ」プログラムの活用を推進する。 （3）企業派遣依頼に基づき「仮）ワークライフバランス優良企業Bank」へ依頼、派遣する。 2. 働きやすい職場づくり企業への求人プロモーション支援（専門家派遣事業） 働き方・休み方改革や社内風土づくり、女性の働きやすい職場づくり等を積極的に取り組んできた企業（ワークライフバランス優良企業）に対して、専門家（社会保険労務士等）を派遣し、今後、労働市場で勝ち残るための求人プロモーション支援を行なう。 ／ 10事業所程度× 5回程度 働きやすい職場づくり支援（制度づくり）に関しては、愛媛労働局、愛媛県や各支援機関の専門家派遣事業等と連携する。 支援企業は、「仮）ワークライフバランス優良企業Bank」を通して各大学短大のキャリア教育授業へ積極派遣を行なう。
	事業期間	令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日
	事業費	1,569,669 円
活動効果 (想定される調査・検証結果等) ※開催回数・参加人数等の 具体的な数値目標の 設定をお願いします。	1. 「仮）ワークライフバランス優良企業Bank」の創設 2. 「仮）ワークライフバランス優良企業Bank」の登録企業数 50社 2. 求人プロモーション支援事業 ⇒社会保険労務士等の派遣 10 事業所程度× 5回程度	

【中小企業振興円卓会議】令和2年度専門部会 収支予算書

1. 収入の部

区 分	予 算 額	摘 要 (積算基礎等)
松山市補助金	1,500,000 円	
法人会負担	69,669 円	
	円	
	円	
合 計	1,569,669 円	

2. 支出の部

区 分	予 算 額	摘 要 (積算基礎等)
人件費	520,800 円	日給7,000円×248日×1名×0.3 (業務按分割合)
人件費	85,000 円	法定福利費×1名×0.3 (業務按分割合) (雇用保険、労災保険、石綿救済法に基づく一般拠出 (概算))
人件費	14,760 円	通勤手当 4,100円×12ヶ月×1名×0.3 (業務按分割合)
旅費	22,200 円	訪問による車両交通費 (@37*50 km*12ヶ月)
報償費	300,000 円	求人プロモーション支援事業 @5,000×10事業所程度×5 回程度 実態調査ヒアリング@5,000*10事業所
需用費	150,000 円	チラシ、広報誌等
需用費	120,000 円	消耗品@10,000*12ヶ月
使用料及び賃借料	94,212 円	パソコンリース代 (@16,000*12ヶ月) ×0.3 (業務按分割合) 事務所費@8,920*12ヶ月 (実績算出) ×0.3 (業務按分割合) 光熱費@15,000*1名 (実績算出) ×0.3 (業務按分割合)
使用料及び賃借料	120,000 円	郵便料、電話料 (@10,000*12ヶ月)
消費税	142,697 円	消費税10%
合 計	1,569,669 円	

専門部会の進捗状況

令和 2 年 11 月 4 日

部会名	はたらきかたワクワクプロジェクト
代表団体	特定非営利活動法人ワークライフ・コラボ
代表者	部会長：堀田 真奈
進捗状況	<p>主体的な働き方改革の活動の場としての「まつやまワークワク部」が設立し 3 年目（活動最終年度）。一昨年の部員は 63 名、令和元年度は 43 名、令和 2 年度は 33 名で活動中（R2.10.16 現在）。</p> <p>コロナの影響で対面型のイベント開催は極力控えており、オンラインイベントやオンラインと現地参加を組みあわすハイブリッド型でイベントの運営が定着している。部員の持ち込み企画では、数少ないながらも「本業とは違う部員同士のつながりで地域課題に取り組みたい」など部員の主体的な動きもみられる。</p> <p>動画配信サービスを駆使して部員一人一人の紹介をしている。「松山の企業（個人）のこういう方がこんな風に働き方改革に取り組んでいる」ということを動画で広く情報発信している。</p> <p>先日行ったオンライン交流会では、「気軽に部員同士情報交換ができてよかった」などの声もあり、働き方改革につながる各社のサポートに今後も注力していく。</p>

<p>円卓会議への 共有事項</p>	<p>4 回シリーズのイベント「運動で仕事パフォーマンスを上げるプロジェクト」では、講師に元オリンピックマラソン選手の土佐礼子さんを招き仕事効率・生産性パフォーマンス向上を目指して活動している。開催済みイベントには全て参加した方もおり、関心の高さが見られる。昨年度大変好評であった働き方改革に関する映画を鑑賞し交流を図る「映画祭」を12月に開催予定していたが、コロナ対策を考慮し、オンラインにて3月の開催を検討している。より多くの方に働き方改革の周知啓発できればと考えており、まつやまワークワク部員外でも無料で参加できる内容としていきたい。</p>
------------------------	--

【中小企業振興円卓会議】令和2年度専門部会 事業計画書

活動名	変えようや松山! 働き方改革先進都市へ	
部会名		
部会長・副部会長名	部会長 堀田真奈	
代表団体名	特定非営利活動法人ワークライフ・コラボ	
構成メンバー	松山商工会議所、ジョブカフェ愛work など	
活動テーマ	ええ会社づくり	
活動項目	「条例の推進活動」	
活動詳細	<p>現状・課題</p> <p>主体的な働き方改革の活動の場として「まつやまワークワク部」を設立し3年目を迎えた。一昨年の部員は63名、令和元年度は42名で活動中（19.10.18現在）。部員数は減ったものの、本気で自社（自社）を変えていきたいと志すもの同士、お互いに刺激を受けつつ、次なる行動をおこそうとする動きも見えてきた。しかしながら、自社内で孤高奮闘している部員の実情も見受けられる。部活動のような社外での人間関係の築きが、個人の行動を促す（背中を押す）きっかけになっており、この場の必要性を感じる。現在はまだ部員自身が主体となって行動をし始める準備をしているといった段階で、部員の士気を下げないためにも、今後は部員が行動することに事務局が伴走しつつ、部員同士切磋琢磨する場づくりを継続していくこと、働き方改革で改善できたことを見える化していくことが課題だと考えている。</p>	
	<p>活動内容</p> <p>【条例の推進活動】 まつやま働き方改革推進会議の分科会「まつやまワークワク部」の活動を事務局としてより具体化していく。 ※令和元年度の活動の振り返り 平成30年度と同じく入部者の属性は、経営者・人事採用・現場の方・フリーランス(個人事業者等)・公的機関と様々で、また入部目的も「会社を変えたい・自分自身を変えたい」という思いを持たれている方、「情報が得たらいい」という消極的な姿勢の方、「どんな活動をしているのか興味があって」という方など色々な想いを持った方のコミュニティである。年度初めには年間スケジュールを作成し、個々のイベントに対しての対象者や目的（新規部員向けの企画、部員満足のための企画、部員の学びの場の企画など）を明確にして企画運営した。</p> <p>1. まつやまワークワク部の活動充実のための環境づくり ・部活のコンセプトや活動スケジュール、随時調整 ・WEBやSNSを使った定期的な情報発信 ・入部説明、入部に悩む方々への打診、フォロー ・入部手続き事務（メールでのやり取り、請求書、領収書発行等）</p> <p>2. まつやまワークワク部の主体的な活動促進 ・部員の持ち込み企画や活動の引き出しと伴走 ・部員などが話題提供者となって開催するワークワクBarの企画運営 ・部員個別への投げかけや必要に応じてのメンタリング ・部員同士交流促進のための場づくり企画運営 ・協力団体等、他の協働者との企画、実施</p>	
	事業期間	令和2年 4月 1日 ~ 令和3年 3月15日
	事業費	1,500,000 円
活動効果 (想定される調査・検証結果等) ※開催回数・参加人数等の 具体的な数値目標の 設定をお願いします。	<ul style="list-style-type: none"> ●部員学びの場（部員のための勉強会）⇒開催回数5回、参加人数各回15名 ●部員交流の場（ワークワクBar）⇒開催回数10回、参加人数各回10名 ●部員アウトプットの場（印刷物作成もしくは情報発信のための集まり）⇒開催回数5回、参加人数各回15名 ●新規部員開拓の場（イベント開催）⇒開催回数2回、参加人数各回30名 	

【中小企業振興円卓会議】令和2年度専門部会 収支予算書

変えようや松山! 働き方改革先進都市へ

1. 収入の部

区 分	予 算 額	摘 要 (積算基礎等)
活動費	1,500,000 円	中小企業振興円卓会議 (松山市補助金)
	円	
	円	
	円	
合 計	1,500,000 円	

2. 支出の部

区 分	予 算 額	摘 要 (積算基礎等)
賃金	1,356,000 円	事務局担当者
旅費交通費	48,000 円	スタッフ移動費
通信費	36,000 円	3,000円×12か月
使用料及び賃借料	60,000 円	PC1台レンタル代5,000円×12か月
	円	
	円	
	円	
	円	
合 計	1,500,000 円	

専門部会の進捗状況

R 2 年 1 1 月 4 日

部会名	人育ち応援部会（働き方改革・職場環境改善）
代表団体	愛媛県中小企業家同友会
代表者	部会長：中 周作
進捗状況	<p>・働き方改革・職場環境改善セミナー</p> <p>「テレワーク」をテーマに4回シリーズで開催済み。「テレワーク」をテーマとするセミナーは終了。詳細は別添チラシと開催状況の報告書をご参照ください。</p> <p>各回20名前後の参加でした。</p> <p>本セミナーを委託・連携しているNPO法人ワークライフ・コラボ様とは次回以降の下半期での開催テーマを相談中です。</p> <p>当初予定していた昨年度のセミナー参加者からその後の実践報告をして頂くセミナーや、同友会の提起している「働く環境づくりのガイドライン」が具体化し、「1人でも雇ったら就業規則を作成する」など具体的なアクションにつながるセミナーなど考えられないか、などの意見交換をしている段階です。</p>
円卓会議への共有事項	<p>当初予定していた公共施設の会場利用によるセミナーを計画していたが、オンラインセミナーへ開催形態を切り替えました。</p> <p>また、当初予定していた昨年度のセミナー参加者からその後の実践報告をして頂くセミナーを検討していたが、コロナ禍による否応なしに進む働き方改革テーマとして「テレワーク」を緊急的に必要課題として捉え、セミナー内容を変更した。</p>

【中小企業振興円卓会議】令和2年度専門部会 事業計画書

活動名	転居女性の市内のワークシェアリング事業／働き方改革・職場環境改善セミナー事業	
部会名	人育ち応援部会	
部会長・副部会長名	部会長：中 周作	
代表団体名	愛媛県中小企業家同友会	
構成メンバー	愛媛県中小企業家同友会、特定非営利活動法人ワークライフ・コラボ	
活動テーマ	ええ人育て	
活動項目	「条例の推進活動」	
活動詳細	現状・課題	<p>中小企業をめぐる経営環境は厳しいものがあり、愛媛同友会景況調査では昨年に引き続き経営上の課題・力点に「人手不足」の課題が第1位の回答で高止まり状態となっている。さらに、帝国データバンクの「働き方改革に対する企業の意識調査」によると、働き方改革に取り組んでいる企業規模別では「大企業」が75.7%で全体の60.4%を大きく上回る一方で、「中小企業」は56.7%、「小規模企業」は41.6%と全国的に未整備の状況がある。愛媛県内においても中小企業が整備すべき課題への啓発が必要であり、中小企業家同友会としては『働く環境づくりのガイドライン』が発刊され、経営者自身が基礎的力量として労務管理を学ぶことが全国的に方針化しており、今後の働き方改革の対応として職場環境改善・啓発セミナー（継続）事業に取り組む。</p>
	活動内容	<p><働き方改革・職場環境改善セミナー（継続）> 特定非営利活動法人ワークライフ・コラボと連携して、中小企業の大きな課題である求職者に選ばれるような魅力ある企業づくりに取り組む。 開催時期：年4回から可能であれば最大6回程度で開催予定。6月ごろからの開始を見込む。 開催場所：主に公共施設を利用。 参加対象：県内中小企業経営者、人事担当者、一般参加も可。 企画内容：中小企業経営者の職場環境改善の経営実践報告、自社への活用に向けて参加者のグループ討論を主とする。昨年度に同セミナーの参加者のその後の実践事例、全国の先進事例の登壇者も予定する。</p>
	事業期間	令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日
	事業費	1,500,000円
活動効果 (想定される調査・検証結果等) ※開催回数・参加人数等の具体的な数値目標の設定をお願いします。	<p><職場環境改善・啓発セミナー（継続）> ・中小企業自身の職場環境整備を進め、社員にとって働きがいとやりがいのある魅力的な職場づくりにつなげる。 開催回数：4～6回、参加50社、参加人数のべ130～200名</p>	

【中小企業振興円卓会議】令和2年度専門部会 収支予算書

1. 収入の部


区 分	予 算 額	摘要（積算基礎等）
活動費	1,500,000 円	中小企業振興円卓会議（松山市補助金）
	円	
	円	
	円	
合 計	1,500,000 円	

2. 支出の部

区 分	予 算 額	摘要（積算基礎等）
人件費	300,000 円	事務担当者の人件費
事務経費	80,000 円	事務に係る郵送費、消耗品費、会合諸経費等
報償費	360,000 円	セミナー講師謝金（講師：@30,000円×6名） セミナー講師交通費（講師：@30,000円×6名）
会場費	70,000 円	会場費（プロジェクター設備、冷暖房費等含む）
通信費	20,000 円	チラシ等の案内郵送費
印刷製本費	50,000 円	チラシ、資料印刷費
旅費交通費	120,000 円	打ち合わせ会合のための交通費等の実費
委託費	500,000 円	セミナー委託費 ・人件費500,000円 ・セミナー会場費：50,000円
合 計	1,500,000 円	

専門部会の進捗状況

R 2 年 1 1 月 4 日

部会名	人育ち応援部会（転居女性のワークシェアリング）
代表団体	愛媛県中小企業家同友会
代表者	部会長：中 周作
進捗状況	<p>・ 7月27日に第1回打ち合わせ会議を行う。 →9月に中小企業経営者への事業説明会を行う。 →NPO法人家族支援フォーラムが第1号でコンサルティングを受けた。</p> <p>・ 9月29日に松山支部例会にて(株)エルパティオ代表取締役・川崎暁子氏より、「転居女性のワークシェアリング事業」の告知・説明会を兼ねて行った。</p> <p><成果></p> <p>・ コンサルティング済1件 NPO法人家族支援フォーラム ホームページ制作・運用の得意なママさんからアドバイス・コンサルティングを受け、長年課題であったホームページ開設が実現。スタッフで簡単に更新・運用できるシステムを構築した。</p> <p>https://www.kazoku-yumepoke.com/</p>  <p>NPO法人家族支援フォーラムホームページ</p> <p>・ 現在相談中：1件 ・ 検討中企業：数件</p>
円卓会議への共有事項	新型コロナの影響に伴い対面・企業訪問などができないため、4月からなかなか事業として始められず、遅れが出ている現状にある。

【中小企業振興円卓会議】令和2年度専門部会 事業計画書

活動名	転居女性の市内のワークシェアリング事業		
部会名			
部会長・副部会長名	部会長：中 周作		
代表団体名	愛媛県中小企業家同友会		
構成メンバー	愛媛県中小企業家同友会、特定非営利活動法人ワークライフ・コラボ		
活動テーマ	ええ人育て		
活動項目	「条例の推進活動」		
活動詳細	現状・課題	中小企業をめぐる経営環境は厳しいものがあり、愛媛同友会景況調査では昨年に引き続き経営上の課題・力点に「人手不足」の課題が第1位の回答で高止まり状態となっている。今後も深刻な人材不足の課題が予測される中、松山市内においては配偶者の転勤で市内在住の女性等には一定のスキルがありつつも、子どもの預け先等がないために就労に至っていない例が多い。こうした、いままでの延長線上にない人材確保に着目したとりくみが必要である。	
	活動内容	<p><転居女性の市内のワークシェアリング事業（新規）></p> <p>(1) 市内中小企業によるママネットワーク内でのエースシェアリング（委託先が実施） 市内中小企業（エルパティオ(株)）を委託先として連携して、その既存のママネットワーク内で、都合の良い時間に仕事をしたいという女性のスキルを把握し、請け負うことのできる業務について情報を共有する。女性のスキルは総務・経理、広報、営業、マーケティング、保育、ITなど多岐にわたる。 開催時期：4月～ 開催場所：えひめママハウス（松山市北土居3丁目2-25） 対象：えひめママハウス内でのママネットワーク登録の女性のうち、松山市外から転入してきた無業女性</p> <p>(2) 愛媛県中小企業家同友会の会員企業からのアウトソーシング 人手不足の市内企業から、(1)の女性が請け負うことが出来る業務をアウトソーシングする。企業側はアウトソーシングできるように業務を細分化して委託業務を切り出すなどを通じて、自社の整備・業務改善・見直しとしても位置づける。 開催時期：早ければ4、5月ごろから 開催場所：愛媛県中小企業家同友会 松山支部 対象：松山市内の人手不足に悩む会員企業</p> <p>(3) えひめママハウス内でのワークシェアリング（委託先 エルパティオ（株）が実施） (2)の請負業務を(1)の女性らが完了。えひめママハウス内での一時保育所を利用、もしくはママ同士で子どもを見るなど、子連れでも業務ができる環境で時間に縛られない働き方で実施。 開催時期：4月～ 開催場所：えひめママハウス 対象：えひめママハウス内でのママネットワーク登録の女性のうち、松山市外から転入してきた無業女性</p>	
	事業期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日	
	事業費	500,000円	
活動効果 (想定される調査・検証結果等) ※開催回数・参加人数等の 具体的な数値目標の 設定をお願いします。	<p><転居女性の市内のワークシェアリング事業></p> <p>・転居女性のスキルを活用することで、人材不足を解決すること、また、中小企業の弱点でもある広報部門、IT活用とその運用などで自社整備できることを見込む。数値目標は10社以上、最大20社程度のマッチングを目標とする。</p> <p>・さらに、企業側は転居女性に委託するに際して、アウトソーシングできるように業務を細分化して委託業務を切り出すなどを通じて、自社の整備・業務改善・見直しとしての効果も得る。</p>		

【中小企業振興円卓会議】令和2年度専門部会 収支予算書

1. 収入の部

区 分	予 算 額	摘要（積算基礎等）
活動費	500,000 円	中小企業振興円卓会議（松山市補助金）
	円	
	円	
	円	
合 計	500,000 円	

2. 支出の部

区 分	予 算 額	摘要（積算基礎等）
委託費	500,000 円	転居女性ワークシェアリング事業委託費 ・人件費・交通費等の諸経費：500,000円
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
合 計	500,000 円	